



THE BAJ NEWS

日本ボストン会| Boston Association of Japan | 会報：65号

レクチャーシリーズ

Youtube動画配信

レクチャーシリーズのYoutube動画配信をいたします。
右のボタンをクリックしてご覧ください。

第8回 長島雅則

テーマ：4分の3世紀を振り返って



第9回 中埜 岩男

テーマ：酸素は神様からの贈り物



第10回 若草物語クラブ

事務局(住井 麻由子・天音)

テーマ：若草物語クラブを楽しむ



尚、このYoutube動画は、日本ボストン会会員並びにレクチャー参加者のみが閲覧できるように限定公開になっています。

URLの拡散並びに部外者への提供は控えて頂けますよう、よろしくお願ひいたします。

ご質問等がありましたら、右のボタンからご連絡ください。



今後のイベント



日本ボストン会HP



<http://www.j-boston.org/>

日本ボストン会事務局



〒169-0051 東京都新宿区西早稲田

2-14-1 (株)日本レーザー内



シニア会講演 「87年の來し方を振り返って」

茂木 七左衛門

シニア会で“講演”をする様にとの要請をいただき、とてもその柄ではないと思いつつも、当日その後に予定されている鶴さんのギター弾き語りの前座として、“雑談”程度でご勘弁いただこうとお引き受けした。ふと気がつけば小生がシニア会の中でも今や最長老の部類なので、これまでの人生を振り返って、以下の様なおしゃべりをさせていただいた次第である。



シニア会で講演される 茂木 七左衛門氏



鶴 正登氏による弾き語りの様子

物心ついた時、私は戦争のさ中で生きていた。生まれ育った野田は幸いにも空襲を受けなかったが、東京から30キロ弱しか離れていないこと也有って、殆ど毎晩空襲警報が鳴り、その度に庭の防空壕に飛び込んで数時間過ごすという日常だった。小学校2年の夏休みに陛下の玉音放送があり、戦争が終わって、時代は大きく変わった。9月の新学期の授業で真っ先にやらされたことは、天皇制とか神道などの日本の伝統文化に関する記述を墨で塗りつぶすことだった。私はまさに“墨塗り世代”的一人だったのである。

それからの80有余年は、おそらく日本だけでなく人類史を後から振り返っても、激動の時代として語り継がれる事になるのではなかろうか。全てにわたって、大変化・大変革を生涯にわたって経験して来たと思うのである。世界人口の増加がすごい。一方で日本は、戦後の急増の後、一転して少子化が進んでいる。あらゆる面での技術革新は、まことに目覚ましく、驚くべきものがある。特にIT関連の進歩のスピードは、小生の理解の範疇を大きく上回る。ライフスタイルも大きく変わった。子供の頃になじんだ日常の原風景は、薪を燃やすかまどや風呂釜、それに、タライや洗濯板だったが、今の若い世代には何のことかまるで分からんだろう。

世界政治、特に安全保障環境の変化も大きく、これは今後の我が国にとって最も重要な懸念材料と言わねばならない。現在及び今後の日本が取り組まなければならぬのは、戦後の占領行政の下で徹底的に行われた“戦争犯罪周知計画”という洗脳キャンペーンによって全否定されたままになっている本来の日本が持つアイデンティティーについての自覚を取り戻し、人類社会に貢献することだと思う。その為には、義務教育レベルからの歪みのない歴史教育が必要である。



報告

ハイキングと紅葉狩りの会

“高幡不動尊山内八十八ヶ所巡りとあじさいのみちハイキング”

中埜 岩男

平成7年6月15日(日)10時に京王線高幡不動駅改札前に参加者6名(鶴さんご夫妻・筒井さん・小野田さん・中埜夫妻)が集合しました。改札階から地上に降りて、高幡不動尊の参道を通って総門から境内に入りました。土方歳三の像を横目にしながら五重塔前で集合写真を撮りました。五重塔傍の山内八十八ヶ所巡拝路入り口からハイキングの始まりです。

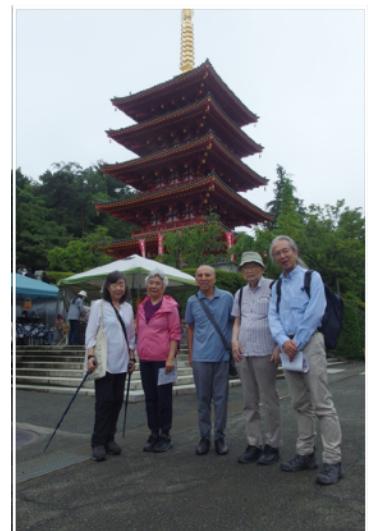


八十八ヶ所巡りの道に沿って、雨上がりに映えるヤマアジサイを見ながら、愛宕山の周回路に配置された88体の大師像を順に参拝しながら巡りました。各大師像脇の案内板には四国の所在地と御本尊が記されていました。雨上がりでヤマアジサイが生き生きとした姿を見せてくれましたので雨も恵みの雨だったかなと思いました。道のぬかるみを心配していましたが足を滑らしたりすることがなかったので幸いでした。巡拝路は上り坂や下り坂があり、行き止まりがあり、大師像が連続していたり、間隔があいていたりとそれなりの変化を楽しめました。

五重塔が大きく見えてきたときには終わりに近づいたなと感じました。最後に大師堂横の88番の大師像に参拝して八十八ヶ所巡りを終えることができました。ヤマアジサイの花がお疲れさまと迎えてくれました。



予約していたそば処開運そばには11時半ごろ入店できました。予約していた6人掛けのテーブルに陣取り、不動セットと願掛けそばを頼み、稚鮎の天ぷらも頼みました。ビールやお



茶を飲みながら、料理を食べながら歓談しました。旬の稚鮎は好評で、お店の定番メニューの不動セットも美味しく満足満足でした。会計を済ませてそば処を出たところで散会となりました。

追記：今回の企画は会員で地元に住む棚橋さんの全面的なご協力を得て実現しましたが、棚橋さんご本人は体調不良のため残念ながら不参加となりました。また、時間の都合もあって、オプショナルツアーは割愛となりました。

音楽の会

若尾 美絵



左から小澤征良氏、沖澤のどか氏、若尾圭介氏、小澤氏のお孫さん
©Winslow Townson

ボストン交響楽団は11月6-8日、日本人指揮者、沖澤のどか氏とヴァイオリニスト、みどり氏のコンサートで、大変賑わいました。

また、11月6日には小澤征爾氏をはじめ、数々の音楽家が出入りするシンフォニーホール楽屋口に面する交

差点が「オザワスクエア」と正式に命名され、式典がありました。長年、音楽監督を務められた小澤征爾氏の功績と奏でた音楽は、ボストン市民の心に深く刻まれています。



左から2番目、高崎誠一郎在ボストン総領事
©Winslow Townson

美術と歴史の会

柴柳美佐

10月8日水曜日「永青文庫 近代日本画の粹」展の見学会を開催しました。

まずリーガロイヤルホテルでランチを楽しみましたが、その際三好様ご夫妻から以前のボストン会の活発な活動を教えていただき、とても興味深かったです。当日は雨を心配しておりましたが、晴天に恵まれ暑くも寒くもなく、永



青文庫まで細川庭園の緑を楽しむことができました。

永青文庫は小規模ながら建築も含め素敵な美術館です。今回の展示では、菱田春草や横山大観、下村觀山の作品など見応えがあり、なかでも修復を終えた春草の「黒き猫」は、猫の細密な描写と柏の葉の装飾性が調和して見事な作品でした。春草、大観、觀山はボストン美術館の東洋美術収集に尽力したフェノロサと岡倉天心の教え子であり、春草と大観はケンブリッジに滞在して自作の展示を行ったこともあります。また展覧会等のご案内できればと思いますので、よろしくお願ひ致します。



★新グループ紹介★

映画の会

富田 知英

今年度より、幹事を拝命しました富田知英です。

私は、MIT Japan Programとの共催で、今年で15周年を迎えます『ボストン日本映画祭』のディレクターとして、本会長で映画祭の創設者でもある八代江津子さんと一緒に、"映画祭を通して、日米の文化理解を深め、対話の場を創る"という活動を行っています。

毎年MITで開催されますこの映画祭を、今後は日本でも"日本とボストンの文化を繋ぐ場"として開催させていただきたく、日本ボストン会で映画の会を発足させていただきました。これを機に、より広い世代に渡って交流を深めていきたいと考えております。みなさまのお力添えをどうぞよろしくお願ひ致します。

今後の活動予定

伝統芸能の会

滝沢 典之

令和8年1月12日(月/成人の日) 歌舞伎観劇会 (新国立劇場) 開催決定、

詳細は別途ご案内します。

レクチャーシリーズ

岩田衛・加奈子

次回のレクチャーシリーズは現在未定です。

お花見の会

筒井健作

まだ具体的な計画は決まっていませんが、来年も皆様と桜の下でお目にかかりますことを楽しみにしております。

ハイキングと紅葉狩りの会

中埜岩男

令和7(2025)年の「紅葉狩り」を次のように企画しましたのでご案内いたします。

開催日時： 令和7年11月29日(土) 10時から14時まで

開催場所： 六義園(JR駒込駅からアクセス)

集合場所： JR駒込駅北口改札前 10時までに時間厳守でお集まりください

紅葉狩り： 正門から入園し、紅葉で有名な渡月橋・藤代峠・つつじ茶屋を中心園内の紅葉と和歌の浦の景勝地にちなんだ和歌を記した石柱を見て回ります。

食事会： 正門近くのトラットリア・イタリア文京店でイタリア料理をお楽しみください。

参加申込： 中埜岩男(Nakano.iwao.docoda@gmai.com)宛メールで
11月26日(水)までにお申し込み下さい。

参考資料： 六義園HP

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/rikugien/index.html>

トラットリア・イタリアHP

http://www.trattoria-italia.com/italia_bunkyo.html

音楽の会

若尾 美絵

【ご優待価格でのコンサート案内】

「若尾圭良 ヴァイオリンリサイタル」

日時： 2026年1月10日(土) 午後3時開演

場所： 代官山ヒルサイドプラザホール

ボストンベースに活動を続ける若尾圭良のデビューCD制作に向けたリサイタルです。詳細は、チラシをご覧ください。

会員(と同行の方)の皆様に、チケット5000円のところ、1000円割引の4000円の優待価格でご案内いたします。会場は、プライベートスペースで席数に限りがありますので、先着10名様まで、また、満席になり次第、締切とさせていただきますので、予めご了承ください。

ご希望の方は、音楽の会 若尾までどうぞお早目にご連絡ください。 mie622@hotmail.com
宜しくお願ひいたします。

若尾圭良

音楽監督アンドリウス・ネルソンより再び招聘を受け、ホスト交響楽団との共演で2026年7月、待望のタクシーカップ音楽祭コンピューアが決定!!

Keila Wakao Violin Recital
ヴァイオリンリサイタル

© JUNICHIRO MATSUO

若尾圭良 ヴァイオリン Keila Wakao

2026年
1月10日(土)
15:00 開演
14:30 開場
5,000円 全席自由 前着150席
代官山
ヒルサイドプラザホール
未就学児入場不可

広瀬悦子ピアノ Hirose Hiroyuki

2026年の初めに、皆様とお会いできるのを、心から楽しみにしています。

今年は、1月15日にビートルズの楽曲をみんなで共演する新作劇場の「サザンルーツ」に間に合って発売するデビューアルバムと同じプログラムを演奏いたします。
そして2026年4月、アンソリティ・ブルンソンズ、ホスト交響楽団と、バーバーヴィーの楽曲の共演でタクシーカップ音楽祭コンピューア、東京交響楽団、東京ブルーノーメーー管弦楽団の定期公演に出演いたします。幼少から夢見る大人なステージが目の前に待つ、新たな躍進の1年となります。

これまで、父の音楽活動をよく支援くださいました朝倉道道、母と兄と夫妻始め、たくさんの家族や仲間の声が大きくなり、温かく育ててくださいました。

2026年1月10日(土)の午後は、20周年に直前の、心の10歳最後の演奏を、ぜひお聞きに来てくださいましたら嬉しいです。

若圭圭良

HILLSIDE TERRACE

代官山ヒルサイドテラス

渋谷区駒込19-29-10

チケット販売/問い合わせ先

日本・ブリタニア交流センター事務局

wakaoconcert@gmail.com

お問い合わせくださいチケットのキャンセル、変更はいたしかねます。

主催: 日本・ブリタニア交流センター

後援: 代官山ヒルサイドテラス 朝倉道道

チケット販売/問い合わせ先

日本・ブリタニア交流センター事務局

wakaoconcert@gmail.com

お問い合わせくださいチケットのキャンセル、変更はいたしかねます。

ブルームス&アルノナタよりアラルツ

E.Brahms: Scherzo from Sonata FAE

C.ショーマン: ピアノとヴァイオリンのための3つのロマンス Op.22

C.Schuman: 3 Romances for Piano and Violin

ベートーヴェン: ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第1番 Op.23

L. Beethoven: Sonata No.1 in A major Op.23

ショーン: 青曲 Op.25

Schumann: Poème Op.25

武田義徳: 伝承の距離

Toru Takemitsu: Distance of the Legend

ラムス: ハイドン

J. Rousseau: Poème Op.23

(当日の演奏曲は変更する場合ございます)

美術と歴史の会

柴柳 美佐

開催日は未定です。

プログラム委員会

細田 満和子、北原 秀治

今後の予定を検討中です。引き続き多くの会員の方々のご参加とご協力をお願いいたします。

ゴルフの会

別府 雅道

現在メンバーが揃わないため活動休眠中ですが、ゴルフ好きの方はぜひご一報下さい。

お待ちしております。

シニア会

鶴 正登（総務担当）

次回開催日程は未定です。

ボストンだより - Oct 20th, 2025

八代 江津子

2025年の秋、日本から岩田御夫妻が来訪され、ボストンの郊外、コンコードの街をご案内しました。コンコードはアメリカ独立戦争の火蓋が切られた地であると同時に、多くの文学者が集い思想が磨かれた場所でもあります。

訪問先のひとつは名作『若草物語』の舞台、オーチャードハウス。館長、そして日本若草物語クラブの会長ミルズ・喜久子さんのご厚意で、作品の背景や実在の家族の物語に触れる丁寧な案内を受けました。作者ルイザ・メイ・オルコットの暮らしの息遣いが残る室内を巡るうち、物語は歴史と生活に根ざした「現場」として立ち





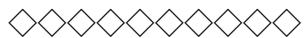
上がり、理解がぐっと深まりました。何度も訪れ、ツアーにも参加していましたが、新たな物語を感じさせてくれました。庭ではその場で実ったリンゴを頬張る幸運にも恵まれ、みずみずしい酸味と甘さに、この家が育んだ温かさを感じました。

さらに今回は、建築家である岩田さんにぜひ見ていただきたい場所として、バウハウスの創始者グロピウスの家にもご案内しました。拙宅から車で数分というご縁もあり、合理と美を兼ね備えたその住宅の佇まい今でも褪せない、理念を現在形で示す学びの場だと私が愛してやまない場所をみていただきました。

日本ボストン会の皆様にも是非、再度ボストンを訪れて頂き現地の方々との交流を重ねられたらと感じた岩田ご夫妻の来ボストンでした。皆様もお越しの際は是非お声がけください。

一方で、アメリカ社会は今、分断の時を迎えてます。10月20日には大規模なプロテストが行われ、人々の思いが街角でぶつかり、交差していました。その渦中で、日本のアニメの主人公がZ世代の象徴としてまた、意思の表現として掲げられている場面に出会い、文化が国境を越えて共有され、価値観の橋渡しを果たす力を実感しました。

歴史と文芸、建築と日常、そして社会の現在が交わるボストン。岩田夫御妻との時間を通じて、私たちが見たのは「違い」を超えて人をつなぐ文化の力でした。コンコードの古い物語も、グロピウスの新しい理想も、そして若者たちの掲げる象徴も——その根には、人がよりよく生きようとする共通の願いが息づいているのだと感じています。



日本ボストン会第11代会長を務められ、長年にわたり、会に貢献された近藤宣之様がご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げるとともに、近藤様のお人柄とご貢献を偲び、藤盛紀明様から頂戴いたしました追悼文を掲載いたします。

「追悼　近藤宣之さんを偲んで」

ボストン会第11代会長を務められた近藤宣之さんの突然のご逝去に接し、深い悲しみとともに、心よりお悔やみ申し上げます。

近藤さんとはボストンより帰国後、日本ボストン会に幹事としてご参加いただいて以来、長年にわたり、ともに会を支えてまいりました。そのご功績と、誰からも慕われた温かいお人柄を偲び、謹んで追悼の言葉を捧げます。

近藤さんは1968年に株式会社日本レーザーを創設され、社長として会社を大きく発展させられました。以来、連続黒字経営を達成し、優れた経営手腕を広く知られる存在となりました。特に「社員を大切にする経営」を理念に掲げ、その考えを出版や雑誌、動画を通じて社会に発信されました。その卓越した功績は、今も多くの人々の指針となっています。

近藤さんの人柄は大変穏やかで、いつも笑顔を絶やさず、お会いするたびに心が和んだことを鮮明に覚えています。日本ボストン会の総会では司会を務められ、場を和やかかつにぎやかに盛り上げてくださったそのお姿は、今も目に浮かぶようです。

また、ご夫妻で多くの会合に参加され、奥様を深く敬愛していらっしゃったことも印象的でした。率直で飾らないそのお姿は、周囲に温かい親しみを与えていました。さらに、日本ボストン会の若返りを目指した企画委員会や、「シニア会」の発足にも尽力されました。これからも共に活動を続け、長くご一緒できると信じていただけに、このたびのご逝去に深い喪失感を覚えております。

近藤さんの経営者としての偉業と、私たちを和ませてくれた温かな笑顔を心より偲び、安らかなご永眠を心よりお祈り申し上げます。

藤盛紀明

